



令和7年8月22日

市政記者クラブ 様

観光文化交流局 文化歴史まちづくり部 文化芸術推進課
担当：柴田・後藤 電話：972-3171

日本の”デザイン都市”のこれからを考える カンファレンス vol.3「往来 | Correspondence」の開催について

名古屋市は平成20年にユネスコ創造都市ネットワーク（デザイン分野）に加盟・認定されて以降、デザインを活用した都市魅力の向上に取り組んでおり、デザイン都市とネットワークの在り方について考える下記のイベントを開催いたします。

記

1. 名 称 カンファレンス vol.3「往来 | Correspondence」（トークイベント）
2. 内 容 デザインを軸に多様なゲストを迎え、そのクリエイティブな取り組みについてお聞きするもの。日本を代表するクリエイティブカンパニー、ロフトワークの共同創業者であり、株式会社Q0代表として「地方と都市の新たな関係性」を切り口に社会課題の解決や地域活性化に取り組む林千晶氏をクリエイティブトークに迎えます。また、第2部では、旭川・名古屋・神戸の各デザイン都市からゲストを迎え、デザイン都市のこれからのあり方と役割についてクロストークを行います。
3. 日 時 令和7年9月3日（水）18:30～20:30
4. 場 所 デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO） 2FギャラリーC
（兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4）
5. 主 催 者 ユネスコ・デザイン都市推進委員会
（あさひかわ創造都市推進協議会、神戸市、ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会）
6. 参 加 無料 定員：50名（要事前申込み、先着順）
Webサイト（<https://www.creative-nagoya.jp/ourai2025/>）にて受付中
7. 問合せ先 ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会
（ucodec@creative-nagoya.jp）

【ユネスコ創造都市ネットワークとは？】

ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN：the UNESCO Creative Cities Network）は、「創造都市＝経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市」間の協力を強化することを狙いとして、ユネスコが2004年に創設したものです。加盟都市は、ネットワークを活用し、知識や経験の交流、人材育成、プログラム協力などを実施し、都市の魅力を高め、文化・創造産業の発展を担っています。現在世界の加盟都市は105 か国350 都市で、7分野（文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化）のいずれかに分類されます。日本では、デザイン分野で旭川市・神戸市・名古屋市の3都市が認定されており、他分野では金沢市、丹波篠山市（クラフト&フォークアート）、札幌市（メディアアート）、浜松市（音楽）、鶴岡市、臼杵市（食文化）、山形市（映画）、岡山市（文学）が認定されています。

各デザイン都市の紹介サイト

旭川市「デザイン都市・あさひかわ」

<https://design-asahikawa.jp/>

神戸市「デザイン都市・神戸」

<https://design.city.kobe.lg.jp/>

名古屋市「ユネスコ・デザイン都市なごや」

<https://www.creative-nagoya.jp/>

【ゲストプロフィール】

林千晶

株式会社Q0 代表取締役



早稲田大学商学部、ボストン大学大学院ジャーナリズム学科卒。花王を経て、2000年に株式会社ロフトワークを起業、2022年まで代表取締役・会長を務める。退任後、「地方と都市の新たな関係性をつくる」ことを目的とし、2022年9月9日に株式会社Q0を設立。北海道や秋田などの地域を拠点において、地元企業や創造的なリーダーとのコラボレーションやプロジェクトを企画・実装し、時代を代表するような「継承される地域」のデザインの創造を目指す。主な経歴に、グッドデザイン賞審査委員、経済産業省 産業構造審議会、「産業競争力とデザインを考える研究会」など。森林再生とものづくりを通じて地域産業創出を目指す、株式会社飛驒の森でクマは踊る（通称：ヒダクマ）取締役会長も務める。

佐藤 公哉

WATARAI DESIGN PARTNERS、クリエイティブディレクター／デザイナー



1983 年、北海道旭川市生まれ。グラフィックデザイン、Web、映像、写真、印刷など幅広い専門技術を活かし、地域に寄り添うデザイナーとして活動している。ブランディングとマーケティングの両面から、暮らしを豊かにするクリエイティブを提案。デザイナーの視点で課題を見つけ、前向きなアイデアと行動力で形にしています。人との繋がりを何よりも大切に考え、会話や出会いから生まれるひらめきを楽しみながら、丁寧なモノ・コトのデザインを続ける。地元・旭川を拠点に、地域資源を活かしたプロジェクトやまちの魅力を伝える活動にも、積極的に取り組む。

野口 僚

合同会社 六甲山クリエイティブラボ、木材活用コーディネーター



神戸芸術工科大学卒業後、家具メーカーで木製家具製造、DIY 専門店での店長・講師を経験。同大学助手として学生の作品制作を支援。2023 年大学院で地域発生木材の利用促進を研究。2025 年、六甲山にシェア工房「六甲山クリエイティブラボ」を設立し、地域資源を活用した制作と若手クリエイター支援に注力。地域と人をつなぐモノづくりを目指す。

浅野 翔

デザインリサーチャー／サービスデザイナー



1987 年兵庫県生まれ、名古屋育ち。2014 年京都工芸繊維大学大学院デザイン経営工学専攻修了。同年から、名古屋を拠点にデザインリサーチャーとして活動を始める。「デザインリサーチによる社会包摂の実現」を理念に掲げ、調査設計、ブランド・商品開発、経営戦略の立案まで、幅広いジャンルで一貫したデザイン活動をおこなっている。「未知の課題と可能性を拓く、デザインリサーチ手法」を掲げ、文脈の理解〈コンテクスト〉と物語の構築〈ヴィジョン〉を通した、一貫性のある提案をおこなう。2018 年より合同会社ありまつ中心家守会社共同代表。2024 年より国際芸術祭「あいち 2025」ラーニング・コーディネーターを務める。